

尾道市実証実験サポート事業

スマートシティカレンダー
(カレンダー型地域情報共有プラットフォーム)

< 採択内容 >

経費支援あり

経費支援なし

採択された内容について、いずれかにチェックを入れてください。

株式会社ジョルテ

1 会社概要

会社名：株式会社ジオルテ

所在地：本社：東京都千代田区九段北1-12-3井門九段北ビル4F

岡山：岡山県岡山市南区新保1186番6号

代表者：代表取締役 下花剛一

担当部署：プラットフォーム推進室

担当者名：下花剛一

電話番号：03-6804-6988

FAX番号：03-6804-6999

メールアドレス：koichi@jorte.co.jp

会社概要

株式会社 ジョルテ

Jorte

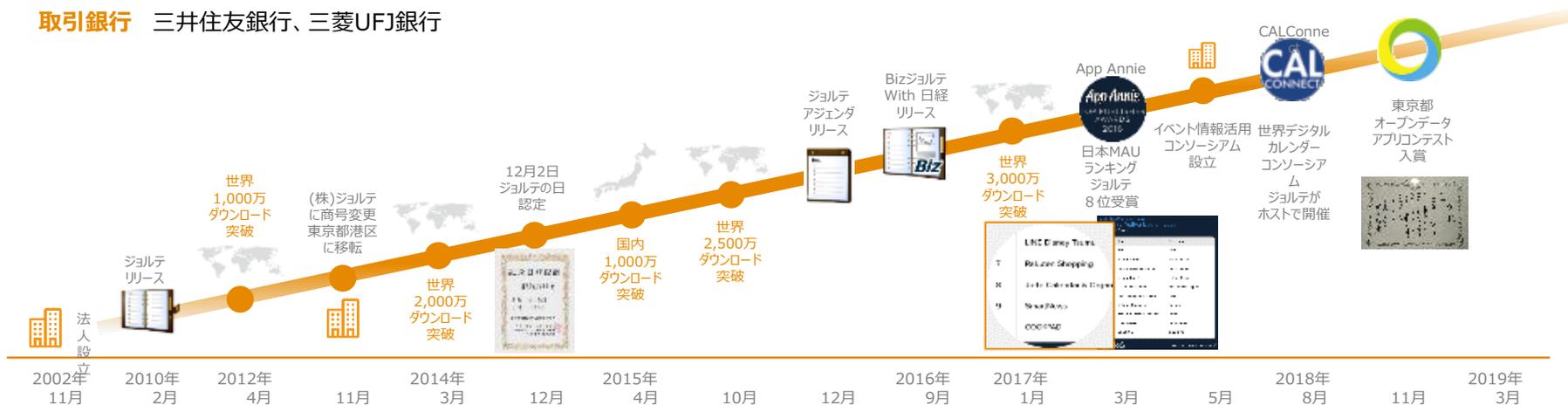
カレンダーアプリ「ジョルテ」を中心とした、
カレンダーサービス事業、カレンダープラットフォームの運営、
イベント情報活用コンソーシアムの事務局運営など

- 商号** 株式会社ジョルテ (英名: Jorte Inc.)
- 創業** 2000年9月1日 (設立: 2002年11月1日)
- 所在地** 本社 東京都千代田区九段北1-12-3
井門九段北ビル4F
岡山開発センター 岡山県岡山市南区新保1186番6号
- 資本金** 50,000千円
- 従業員数** 35名
- 取引銀行** 三井住友銀行、三菱UFJ銀行

株式会社 イベントバンク(100%子会社)

EventBank

日本全国のお祭り・イベント情報ほか各種地域情報の収集提供。
イベント・観光情報のデータベース作成提供を行っており、主要40メ
ディアへ情報提供。また、過去10年間のイベント情報を保持しており、
分析・予測向け・AI教師データとして情報提供も行っている。
サイト「EventBank プレス」、「EventBank パートナース」、
「EventBankライブ」を運営



※ 記載されている会社名や商品名などは、各社の商標又は登録商標です。
※ 記載されている実績には、現在終了しているサービスも掲載しております。

2 会社事業概要



カレンダー & 手帳アプリ



無料 一部アプリ内課金あり

ダウンロード実績

世界



3,400 万
ダウンロード

日本



1,400 万
ダウンロード

性別・年齢を問わずに幅広く、世界で利用されています。

こだわり



本物の手帳の雰囲気



見た目の良さ



使いやすさ



アプリダウンロード
<http://jorte.com/dl/>



3 事業のコンセプトと概要

■ コンセプト

実用的な地域DXプラットフォームの実現

「地域・人・サービスの新しいつながりを作り出す」

■ 概要

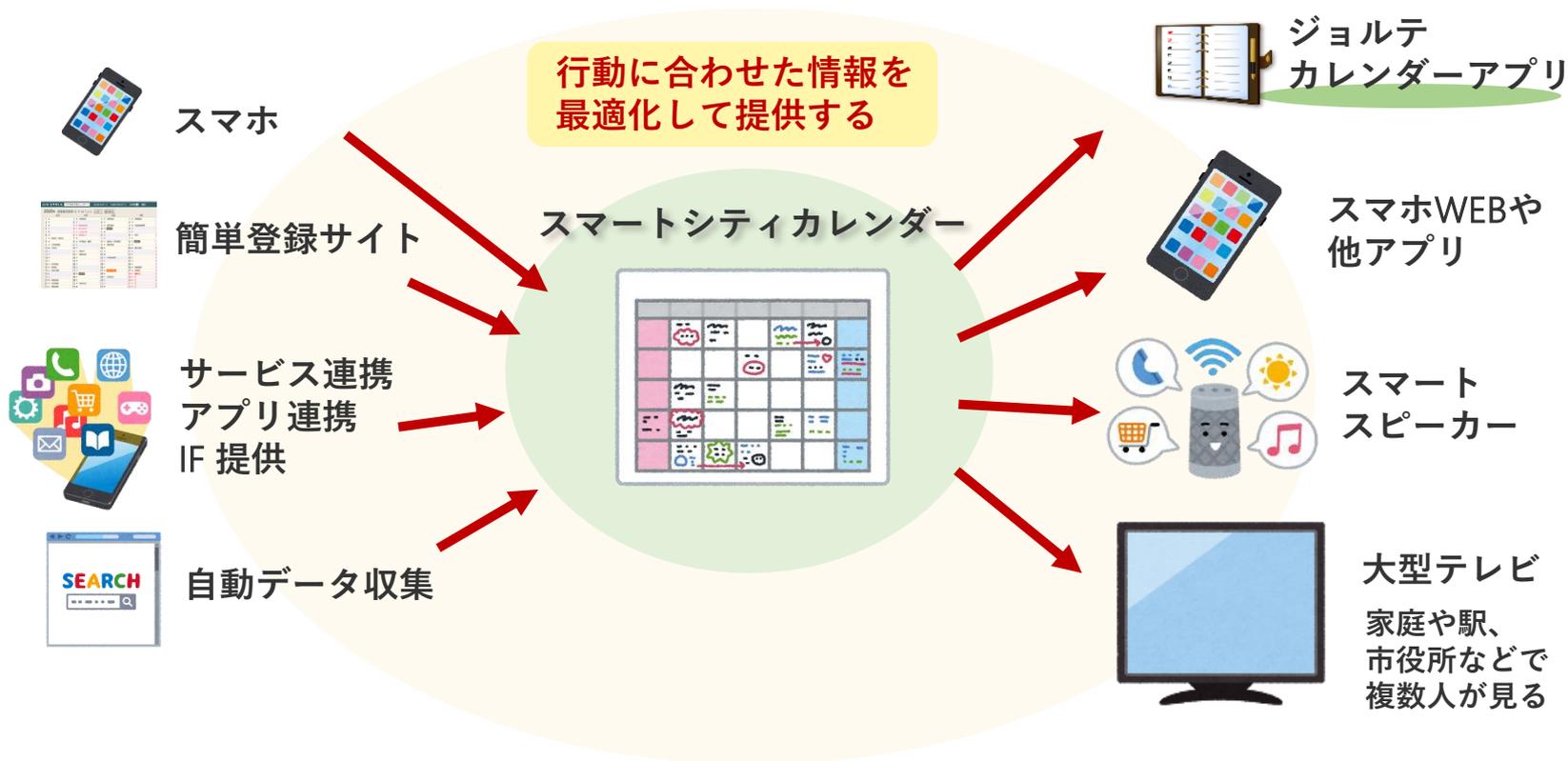
地域コミュニティの情報共有や、観光客向けの情報配信をデジタル化し、生活の中でのカレンダーに集約することで、情報を届ける仕組みを提供する。

カレンダーを活用して人の行動軸で情報を共有することで、新たな行動を生み出すとともに、地域・人・サービスの新しい「つながり」を作り出す。

4 事業の詳細

カレンダー型のプラットフォームを用いた地域情報の共有

地域の情報やサービスをカレンダーに集約し、その人の行動に合わせて最適な情報を届ける。利便性の向上と同時に「**出来ることに気付く**」ことで毎日に変化をもたらし、地域と人との新たなつながりを創出する。



4 事業の詳細

■ 実施内容の項目

- ・ 地域課題の確認、調査
- ・ 地域やコミュニティ、施設の選定
- ・ カレンダーでの表示・共有方法の検討
- ・ コミュニティ・施設との調整
- ・ サービス実装
- ・ データ収集・作成
- ・ 効果検証 ※ 効果検証まではできていない

■ 具体的な実施サービス

- ・ 小学校 1 校、中学校 2 校、高校 1 校での行事予定や給食などの情報配信
 - ・ 瀬戸田におけるレモンカレンダーを配信予定（3/27から）
- ※ 5月に新アプリをローンチし、商店街等に展開していく予定

5 事業の結果

■ 提案時の目標

①カレンダー型の情報共有サービスを地域コミュニティに適用する場合の課題や最適な表示方法、共有方法、情報の収集方法を見つけ出す、

→ しおまちとワークショップや地域の方々との関わり合いの中、地域の方々と一緒に発信する情報の種類や収集方法をどを検討した。

②継続的な利用が見込まれるコミュニティや施設 3箇所

→ 小学校1校、中学校2校、高校で1校が継続的に実施中

瀬戸田にてレモンカレンダーというレモン+地域情報発信サービスを3/27にスタート予定。

尾道の商店街も予定していたが、開発スケジュールやコロナなどの影響で後ろ倒しになっており、来年度実施の予定。

③実証実験によるユーザ調査で、継続的な利用意思ユーザの割合 30%

→ 今回、学校以外で地域を巻き込んだ形までに至っておらず、ユーザ調査まではできていない。

■ 結果の考察

具体的に新たな価値を作り出して利用してもらおう状況にまでは至らなかったが、地域の方々との関わりによって課題や解決方法が得られ、それをもとに現在サービス開発を実施している。5月頃にその新サービスをローンチの予定でその後は、商店街などに展開する形で進める予定。

当初よりも実施のスケジュールが延びてしまっているが、コロナの状況で東京から行きにくい状況が続いたことが主な要因。

今後も、尾道市エリアにおいて本事業は進めていく予定。